

第9号様式(第14条関係)
 座間市市民協働課
 令和2年4月27日受付
 第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和2年4月27日

(宛先) 座間市長

団体 住 所 座間市入谷西2-40-26
 名 称 アクティヴ・ママ
 代表者氏名 長瀬 未紗
 市 担 当 課 市長室 渉外課
 所 属 長 川島 是一

次のとおり報告します。

1 事業名	多国籍親子支援事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	30 年度選考 (元 年度実施)
4 報告期間	31年4月1日から 令和2年 3月31日 まで
5 事業費	394,729円 (うち座間市支出分 394,729円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>様々な国籍の人が在住している座間市で、孤立している親子の居場所作りと地域に友達ができることを目指し、国際交流サロンやイベントを開催した。毎月1回の国際交流サロンでは、主に外国籍住民をゲストとして呼び文化紹介や季節の工作、お茶を飲みながらの交流などを行った。また台風シーズンの前には、防災をテーマに、避難所の確認や避難方法などを確認した。夏に開催した国際交流イベントでは、多国籍の料理や遊びなどを用意し、市民が外国の文化に触れる機会、また外国籍市民を身近に感じる機会を提供した。</p> <p>また、今年度より開始した外国にルーツを持つこどものための学習支援では、ペルーやパキスタン、フィリピンにルーツのある子どもなどが参加し、年齢や日本語習得度及びニーズに合わせた学習支援を行った。必要に応じて、外国籍の母親の相談なども受けた。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	多国籍親子支援事業
-----	-----------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <p>市内在住の外国籍親子との新たな出会い・交流があったり協力者が増えたりと、概ね達成できた。</p>	<p>国際交流サロンや日本語学習支援を定期的実施し、市内在住の外国籍親子と日本人親子の繋がり場の提供できた。</p> <p>国際サロンや国際交流イベントでは、様々な国の文化を紹介し、参加者が多文化に触れる機会を提供できた。</p>
事業成果・効果	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立していた外国籍親子に友人ができ、学校生活や生活全般について相談できるようになった。 ・日本語が分からない外国籍親子が、病院や災害時などのことについて、座間市の情報を得ることができた。 ・母国の文化紹介など、外国籍の母親の活躍の場となった。 ・学習支援では、子どもの興味のあることを調べ、発表してもらうことにより、子どもたちの活躍の場となった。 	<p>この事業における「外国籍親子が地域での孤立を防止する」という課題への取り組みについては、外国籍親子のニーズを反映させた企画を実施するなど、団体と市で模索しながら、様々な手法で居場所を提供できたと考える。サロンやイベントでは、生活する上で困っていることなど気軽に相談することができ、微力ではあるが、外国籍親子にとって日常生活のサポートを受けられる場としても機能したと感じている。</p> <p>また、「自分たちがいつでも気軽に行ける場所」があることで、本市で暮らす外国籍親子が、地域コミュニティに受け入れられている意識を醸成することに繋がったのではないかと考える。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	<p>十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。</p> <p>担当課の皆さんは私たちの想い、事業目的や課題を本当によく理解し、共通認識として持ってくれていることが事業や話し合いを通じてよく分かった。</p>	<p>日頃から連絡を取り合い、意思の疎通を図ることができた。</p>
事業の進行管理	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <p>十分な情報交換ができた。スケジュールもこちらの意見を尊重してくれつつ話し合いながら見直すことができた。</p>	<p>学校行事や他のイベントを考慮しながら、必要に応じてスケジュールの見直しを行った。年度末に実施予定であったサロンやイベントは、新型コロナウイルスの影響により残念ながら中止となったが、密に連絡を取り合いながら事業の実施の可否を検討した。</p>
対等な関係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <p>互いに尊重し、対等な立場で協議することができた。</p>	<p>それぞれの視点から意見を伝え合い、対等な立場で協議することができた。</p>
相互理解	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <p>立場の違いから多くのことを学ばせていただいた。私たちの弱い部分（広報面等）をフォローしていただいた。</p>	<p>お互いの立場を尊重しながら、事業を実施することができた。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	(団体の役割) サロンやイベントの企画、運営 情報提供 周知活動	(市の役割) ・広報 ・活動場所提供 ・当該事業の資金 ・ネットワーク ・スタッフ スキルアップのための研修などの情報提供 ・国際交流サロンやイベントの運営

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正であった。	適正だった。
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	
	役割を果たすことができた。	一定の役割を果たすことができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	市の資源を使わせていただき、団体だけでは実現しえないことにチャレンジでき、実現できたことに感謝している。	国際交流サロンや日本語学習支援では、保護者から幼稚園の入園準備や学校行事への対応についての質問や不安の声が寄せられることもあったが、その場で解決することができた。これは、自らが同じコミュニティで生活し、子育て世代という強みをもつ団体との協働事業だからこそその効果である。

4 今後の具体的な展開

<p>事業の波及効果</p>	<p>今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。</p>	
	<p>(団体の考え) 学習支援は国籍問わず学習者・協力者を募集し、継続していく。 国際交流サロンについては、料理教室や日本の行事、災害及び緊急時についての勉強会など、参加者の興味・ニーズに合わせて開催していく。</p>	<p>(市の考え) 本事業では、多文化共生という大きな課題に対して、多国籍親子支援という側面から事業を実施してきた。現在、本市では、3千人を超える外国人が在住している現状があり、行政に求められる支援体制も多種多様なものになってきていると感じる。その中で、まずは外国籍親子が地域コミュニティに受け入れられる仕組みを作ることができたことは、外国人支援の草の根活動の第一歩だと考える。 今後も団体がこの活動を継続して行っていけるように、行政でも情報収集に努め、団体と共有していくなど、外国人の居場所づくりを支援していくよう努めていきたい。</p>